

同窓会だより

東京学芸大学附属竹早小学校同窓会

昭和63年9月30日発行

No. 8



同窓会理事長

昭和八年卒

内藤 祐次
(会社会長)

長期政権であられた今井繁雄先輩(昭和二年卒)から、理事長のバトンタッチをお受けしてから一年が経過いたしました。

ベテランであられる副理事長、理事の皆様を支えられ、初めの半年はハニカミながら、そして、昨年十一月八日の総会で同窓会規約第九条の改正が承認されて以来(会員は会の運営費として、年会費を納入する。を第九条に追加)、年間二百数十名の方からいただいております維持費が、本年は一千名を越えて、毎年ギリギリであった同窓会の財政が多少上向きになり、理事会における討議も前向き、活発となり、その内に、何かいろいろ新しい試みに挑戦してみたいなあ、という気分が次第に湧いて

てきた昨今の私であります。

会のコミュニケーションの骨格が正しい名簿の活用であるならば、『同窓会だより』は、その筋肉ともいえるべきもの。そして、時代は異なっても、六年間、名門の附属小学校時代の共有したことのある六千数百名の会員の皆様がそれぞれ形作つておられる、一つの社会単位としての集まりが、月、日、春秋のいろいろな折に催されており、それらをうまくつなげて活発化させていくことは、本部役員の使命であろうと存じます。前向きに物事が考えられるようになった本年度、その活動を支えてくれる原資ともなる年維持費をお送りいただける会員が、本年の一千名から明年の二千名へ、そして更に、という具合に会の財政が次第に豊かになっていくことを、私は願っております。

昭和六十二年度 総会が開催されます!!

ビデオで母校を見ませんか

皆様、お元気ですか?

私達の母校は明治三十三年、東京府女子師範学校として開校され、今年で八十八年になります。米寿というわけです。

この間に文京区竹早の地で学び、遊んだ同窓生の人数は約七千名に達します。母校をめぐる思い出の数は文字通り、星の数ほどあるのだろうと想像します。

今年の同窓会総会は、昭和十二年に完成し、現在まで五十年以上も使

われている母校の現況を、ビデオでご覧いただく予定です。

たとえば工作室、理科室、家庭科室、音楽室での授業、給食、休み時間の過ごし方。クラブ活動、生徒の作品、校庭、プールなどが今、どうなっているかを紹介します。昔と今のは共通点や大きな違いが発見できるのではないかと思います。

ビデオの他にも楽しい催しを企画しております。どうぞ皆様、お誘い合せてご参加ください。

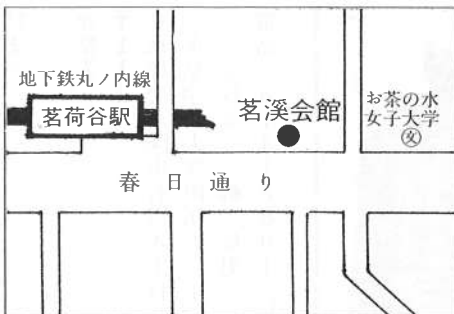
※同窓会総会出欠のご返事は、十月二十五日までお願いいたします。

★日時 十一月五日(土) 午後二～四時

★会場 茗溪会館 二階宴会場
東京都文京区大塚1の5の22
☎03-1943-1032

★会費
中学・高校生 三〇〇〇円
一般 五〇〇〇円
昭和十三年卒の会員三〇〇〇円
※別に運営年会費 一〇〇〇円

★ご招待者
現・旧職員
大正六年卒以前の会員



地下鉄丸ノ内線・茗荷谷駅下車 徒歩2分
(駐車スペースがありませんので、お車はご遠慮ください。)